

特別展

第1展示室

生誕100年 山下清展—百年目の大回想

7月11日(金)～8月31日(日)

「放浪の画家」として人々に親しまれた山下清(1922-1971)の画業を紹介する展覧会です。代表作《長岡の花火》をはじめとする貼絵を中心に、幼少期の鉛筆画や後年の油彩、ペン画、陶磁器などの作品約190点と関連資料を展示。テレビや映画で紹介されてきたイメージとは異なる、芸術家・山下清の真実の姿をご覧くださいます。



《長岡の花火》1950(昭和25)年/貼絵 ©Kiyoshi Yamashita/STEPeart 2025



《ロンドンのタワーブリッジ》1965(昭和40)年/貼絵



《ハイデルベルクの古城》1964(昭和39)年/貼絵

細川・美術館コレクションⅠ

第2展示室

- 1室 細川家の大名道具
- 2室 今西コレクションの浮世絵
- 3室 熊本の近代美術と西洋絵画

4月29日(火・祝)～6月22日(日)

永青文庫が所蔵する細川コレクションと美術館のコレクションをあわせて展示。細川家伝来の馬具や屏風絵等を展示し、華やかな大名文化を紹介する他、今西コレクションの浮世絵や西洋絵画の名品を展示します。



《梅樹文蒔絵鞍》永青文庫蔵 当館寄託

特別展

第2展示室

松井文庫創立40周年記念 文武に生きた筆頭家老・松井家ただいま参上！

武家の嗜み、そして忠義

9月30日(火)～11月24日(月・祝)

松井家は、江戸時代を通して大名細川家の筆頭家老をつとめ、肥後熊本藩の支城である八代城を預かった家です。その歴史は室町時代末まで遡ることができ、徳川将軍家からも知行地を与えられた稀有な家柄でもあります。本展では、忠義の家臣・松井家の歴史と華麗なる武家文化をご紹介します。



《猫形楊枝差》松井文庫蔵



松井興長所用《緋黒羅紗段替陣羽織》松井文庫蔵



左から《正平革鎧形一つ提げ煙草入れ》、
《獅子牡丹文様染革鎧形一つ提げ煙草入れ》、
《鎧形一つ提げ煙草入れ》松井文庫蔵

細川・美術館コレクションⅡ

第2展示室

- 1室 東洋美術の精華
- 2室 新収蔵品展
- 3室 新収蔵品展

7月10日(木)～9月15日(月・祝)

細川家16代当主・護立が蒐集した中国陶磁を中心とした東洋美術を展示。大陸特有の色彩鮮やかで豊かな世界を紹介します。また、令和6年度(2024年度)に新たに収集した作品を紹介する新収蔵品展を開催します。



熊本県指定重要文化財
神吉楽寿《雨龍透金渦象嵌鉢》当館蔵

特別展

第2展示室

創刊50周年記念 花とゆめ展 in 熊本

12月6日(土)～2月8日(日)

2024年5月に創刊50周年を迎えた少女まんが雑誌『花とゆめ』。本展は50周年を記念する「パーティー」をキーワードに、幅広い世代の方々に『花とゆめ』の作品が切り開いてきた少女まんがの世界、読者に届けてきたときめきと感動の数々を、約200点の原画やラフ資料などの関連展示でお楽しみいただく展覧会です。



©美内すずえ／白泉社



©高屋奈月／白泉社



©草凪みずほ／白泉社

細川・美術館コレクションⅢ

第2展示室

- 1室 武蔵が熊本にやってきた！
- 2室 にている美術
- 3室 にている美術

2月20日(金)～3月15日(日)

第1室では、剣豪として名高い宮本武蔵を特集します。第2・3室では、当館の幅広い作品を、「類似点」に着目しながらご紹介しします。作品に描かれたモチーフや、表現方法を見比べながらお楽しみください。



海老原喜之助《雪景色(狩り)》当館蔵

設備調整のため、「細川コレクション永青文庫展示室(別棟展示室)」を閉鎖し、第2展示室にて細川コレクションを紹介します。

細川コレクションとは・・・東京の美術館「永青文庫」が所蔵する大名細川家ゆかりの美術工芸品・歴史資料。

掲載内容・展示作品は変更になる場合があります。年末年始休館。

